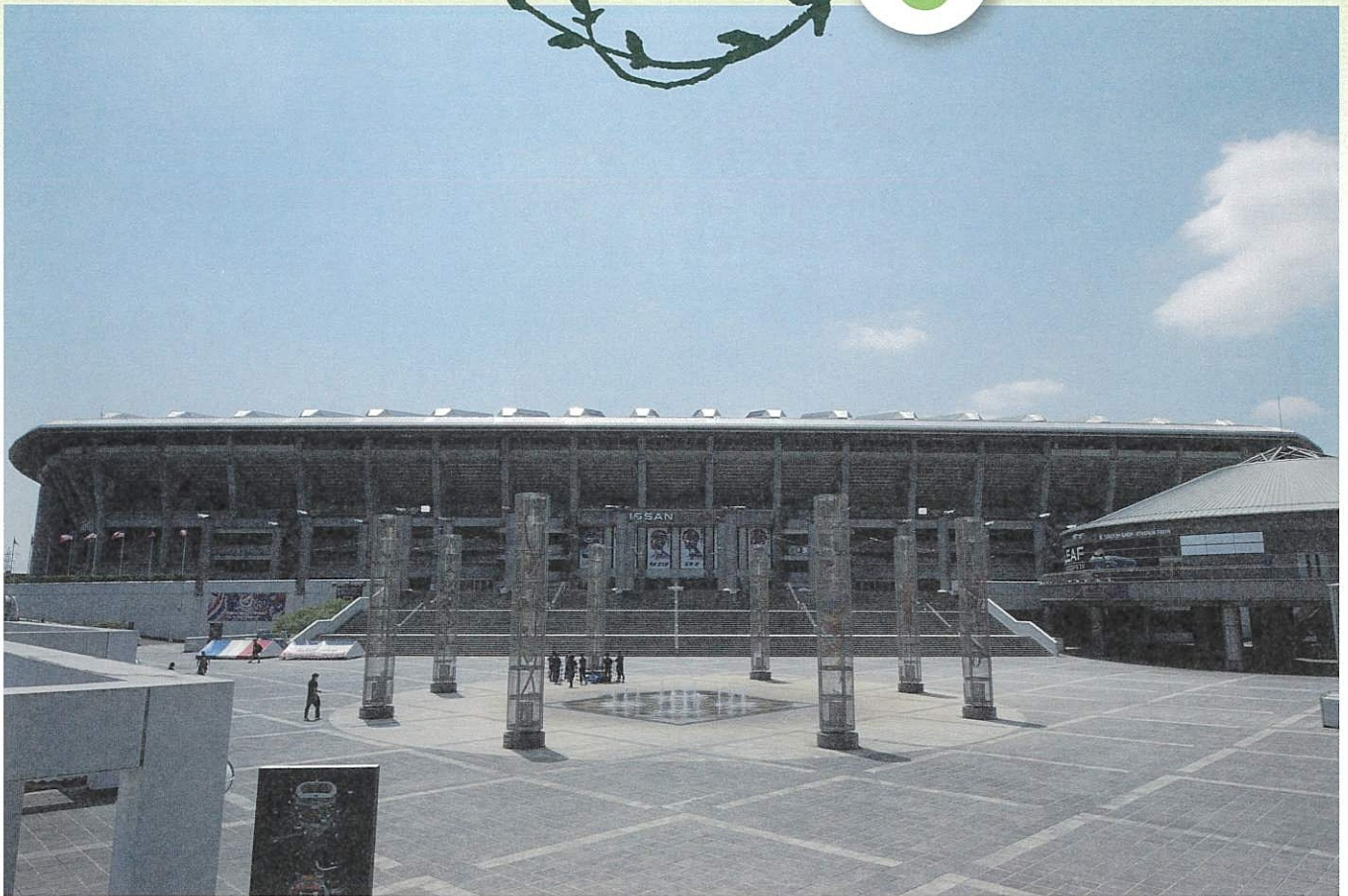


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



日産スタジアム(横浜市港北区)

西徳寺の予定

6月

- 9日(火) 午後2時 評議員会役員会
13日(土) 午後5時半 同行会「和讃」に学ぶ
法話: 深澤 見弥
17日(水) 午後1時半 婦人会間法会
20日(土) 午後2時 定例間法会
21日(日) 午後2時半 城北ブロック会総会・間法会
場所: 「くいもの屋わん」・池袋西口公園店
27日(土) 午後2時 総代会
28日(日) 午後2時半 城東ブロック会総会・間法会
場所: 森下文化センター

※予定は変更することがあります。詳しくは寺務所までお問合せください。

7月

- 5日(日) 午後3時 燈虹塾セミナー
13日(月)～16日(木) 孟蘭盆会
(10日からお盆体制となり、新盆を中心にお参りに伺います。)
18日(土) 午後2時 定例間法会
22日(水) 午後1時半 婦人会食事会(送別会)



6月の山門の言葉

息を吸って 生命を食べて 排泄するだけの
猿じゃないと 言えるかい? 「新世紀のラブソング」
ASIAN-KUNG-FU-GENERATION



久方ぶりの長男とのカラオケで、彼が歌った歌。強烈な歌詞に固まった。2010年の歌とのこと。「なんのために生きているのか?」という問い掛けをさらにえぐる、直球の表現。言い過ぎではないかと思う反面、どこかぐうの音もでないものをごまかせない自分がいた。

この歌詞は若者の青春の叫びとも聞こえるが、健康寿命を願う全社会に強烈に響いてくる。目標や目的、健康が有るうちあまり気にならないのかもかもしれないが、ひとたびそれを失った途端に「生きていく意味が分からない」となる。まさにこの歌詞のごとくではないだろうか。

この歌詞は改めて読むと、呼吸をして食物を食べて排泄するという、生命活動そのものであり否定できない内容である。しかしそれが強烈に響いてくる理由は、人間は猿とは違うからである。では何が違うのか…。

佛光寺派伝統の食前・食後のことばが浮かんできた。

食前のことば

「わたくしたちは、今この食膳に向かつて、衆恩の恵みに深く感謝します。いただきます」

食後のことば

「わたくしたちは、この美しい食を終わって、大いなる力を得ました。この力を報恩の行業にささげます。ごちそうさまでした」

生命から力を頂き、仏様より頂いたご恩に報いる生活をしていくということである。それは仏様の声、呼び掛けを聞いていくという一点に極まる。さらには仏の声を聞くということとは、自分自身を聞いてゆくことに他ならない。多くの生命に支えられ、深い願いを掛けられていたからこそ、今日ここまで歩めた自分自身との出遇いである。

その出遇いは、自分中心で生きてきた私にとって大きな方向転換なのである。そしてこの行業は仮に健康を害しても、病床でも歩める道ではなかるうか。

そこが「猿」とは違うのである。否、動物こそ生命に従順に生きているのであろう。人間にのみ懺悔をともなう深い感謝の道が開かれる。

(山崎 哲記)

ランドマーク
日産スタジアム
(横浜国際総合競技場)

6月はFIFA ワールドカップ26がアメリカ、カナダ、メキシコで開催されるということで、2002年FIFA ワールドカップ決勝戦が行われた、日産スタジアムに伺いました。

日産スタジアムは、平成10年に鶴見川多目的遊水地整備事業の中核施設として建設された、日本国内最大の72、327席を誇る屋外多目的競技場です。現在はJリーグ横浜

F・マリノスのホームスタジアムの1つとなっています。

隣接する鶴見川は、かつて「暴れ川」と呼ばれており、氾濫を繰り返してきた歴史があります。日産スタジアムがある新横浜公園は、プール、野球場、テニスコートなど様々な運動施設が設置されている遊水地であり、鶴見川の増水時には水門が開かれ、水を貯め氾濫を防ぐ機能をはたしています。実際に今まで24回、川の水が流入しました。平成26年、台風18号の際は水門が開けられ、高さ5.9mまで水が貯まったそうです。

日本のワールドカップの初戦は6月15日早朝5時、オランダ戦です。活躍を期待し、一緒に応援しましょう。



鶴見川の水門と日産スタジアム

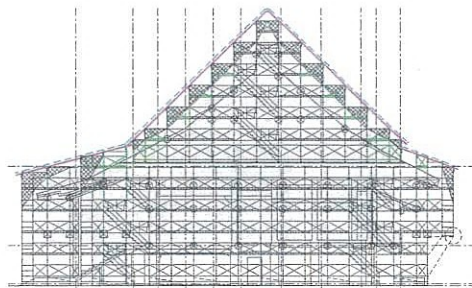
西徳寺本堂令和大改修

本堂大改修にともない、皆様にはご負担をおかけしておりますこと、お詫び申し上げます。また更にご高配を賜っておりますことも、重ねて御礼申し上げます。

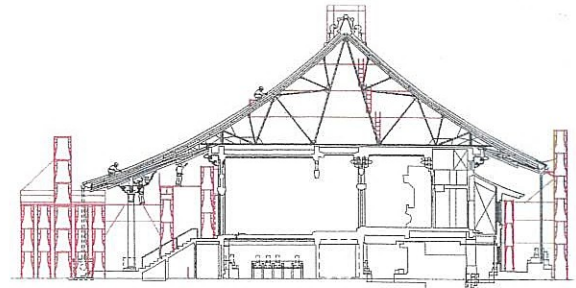
世界情勢が不透明な中、懸念事項は多々あるものの、着工予定日は近づきつつあります。総代会において清水建設様と綿密に審議をしておりますので、ご安心いただければと存じます。

先般、資材高騰を受け、清水建設よりコストダウンの提案がありました。もちろん工事の品質を落とさない範囲であり、そのひとつに足場の簡素化が提案されました。当初は本堂をすべて覆う予定でありましたが、下記図のように、全てを覆わない形で進めることが可能とのことでした。

試行錯誤するなかで、改めて、関東大震災の7年後に当本堂を完工させた先人のご苦勞に思いを馳せると同時に、誇り高き思いを感じずにはおれません。この本堂を護るべく、引き続きのご協力、何卒、よろしくお願い申し上げます。
住職 山崎 哲



「仮設素屋根+外部足場」



「外部足場」



いまさら聞けないお寺のこと

「本堂はどんな場所？」

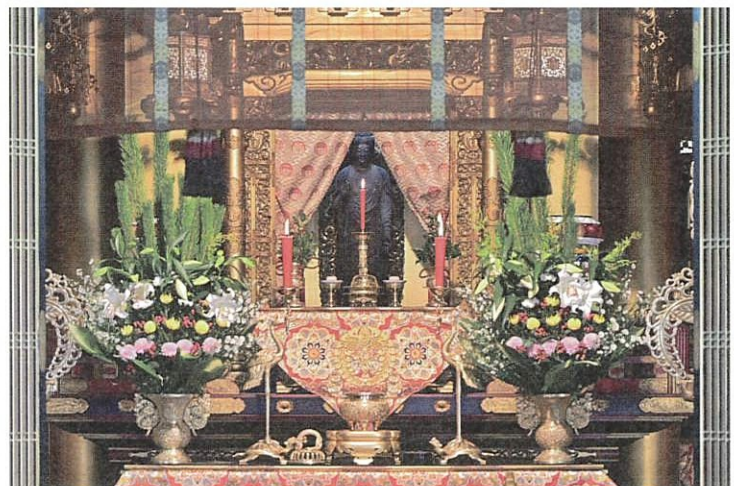


西徳寺にお越しいただいた際、本堂でご本尊に向かって手を合わせお参りされたことがあると思いますが、どこか非日常の場所といった印象を持たれたことがあるかもしれません。お寺の本堂はお参りをする場として大切にされてきましたが、一体何が表されているのでしょうか。

真宗寺院の本堂は、本来、目に見えない阿弥陀仏の浄土を私たちの目に見えるように表現されています。

本堂の中央には阿弥陀仏(ご本尊)がご安置され、ご本尊の前に置かれた燭台(口ウソク立て)や花瓶などの仏具は金色に装飾され、法要の際には灯明を灯し、花瓶に花を立て香炉に線香をお供えます。

本堂の荘厳を通し、お参りさせていただくことで、清浄なる浄土のはたらきに触れさせていただくご縁を頂戴する、大切な時と場をいただいているのではないのでしょうか。



中央ブロック会総会・聞法会

4月26日（日）、西徳寺にて中央ブロック会総会・聞法会を開催いたしました。令和7年度の事業報告、決算報告と令和8年度の事業計画案と予算案を審議していただき、承認されました。

聞法会では、「とても地獄は一定すみかぞかし」という『歎異抄』第2章の言葉を取り上げ、思い通りにならないことを思い通りにしたい、その私たちの心が地獄そのものであると教えていただきました。

今年度から中央ブロック会を担当させていただきます。何卒よろしくお願いいたします。

次回は8月2日（日）開催を予定しています。大勢のご参加をお待ちしております。

（新担当：深澤 見弥 記）



城南ブロック会総会

5月10日、大井町きゅりあんに於いて第43回総会・第115回聞法会を開催いたしました。会員16名のご参加をいただき、『煩惱に人間が使われる』をテーマに皆様と学ばせていただきました。

山崎住職より、思い通りにならないことを素直に受け取れない私たちは自分をあてにして、自分を苦しめている。それが我々の執着心であり、それが生活における根本問題であると教えられました。

聞法会後の懇親会では、みなさんとお酒や食事をご一緒しながら、普段はなかなか聞けないことなどを語り合い、大変楽しい時間となりました。

次回は10月11日（日）。三軒茶屋のしゃれなあとに於いて、聞法会を開催する予定です。ご参加をお待ちしております。

（担当：大谷 隆 記）



西徳寺総代会

長年にわたり西徳寺の護持発展にご尽力くださいました、責任役員総代・川村洋三様のご逝去を受け、総代会において協議を重ねた結果、新たに本間和夫総代に責任役員総代へご就任いただくこととなりました。

本間責任役員総代は、青年会発足当時より会員として西徳寺に深く関わられ、青年会会長も歴任されました。また、西徳寺評議員として寺院運営に携われた後、令和4年より総代に就任され、現在に至るまでお寺の護持発展にご尽力いただいております。

総代会は二ヶ月に一回開催しており、現在は本堂改修工事を中心に、寺院運営や今後の方針について話し合いを重ねております。これからもご門徒の皆様のお力添えを賜りながら、人々の依り所となるようなお寺づくりに努めて参ります。

今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

副住職 大橋伊知郎



総代会の様子

燈虹塾主催 神月乙桜さんトークライブご報告

去る5月2日に花魁インフルエンサーである^{かみつきさくら}神月乙桜さんをお招きしてトークライブが開かれました。

神月さんは長年SNSで江戸吉原についての情報発信する活動を続けられ、その成果もあって現在総フォロワー数が約23万人いらっしゃいます。今回はSNS投稿に寄せられたコメントから、令和の人々が江戸吉原をどのように認知しているのかを紹介していただきました。年配の方から見た江戸吉原と、若い方から見た江戸吉原とではだいぶ違いがあることに気づかされた時間でありました。

(事務局 高橋 淳 記)



「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合せください。



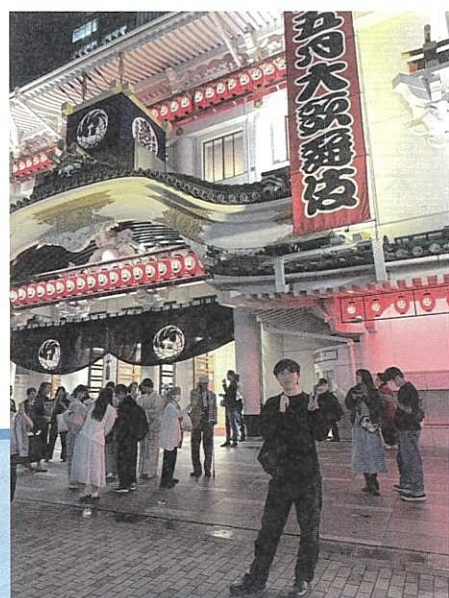
坊さんのツブヤッター



@フカケン

先日、人生で初めて歌舞伎座に行って参りました。想像していたよりもずっと大きく、見上げるほどの高さでした。恥ずかしながら、「(映画の)『国宝』で見た建物だ!」と心の声が出ました。

#初めての歌舞伎



内愚外賢

～賢者の信を聞きて、愚禿が心を顕す～

先日、同郷(滋賀県)の友人と久しぶりに会いました。彼は人と接するのが好きではなく、家にいることが多いそうです。最近は寂しくなり、オンラインゲームを始めたとのこと。その彼が「一人だと寂しいのに、煩わしいから個別の世界を望む。おかしい話ですよ」と言っていました。確かに人と関わるのは時として煩わしいものです。その煩わしさを解消するため、個別の世界が望まれ、その願いに応えるよう技術が発達しています。

5月に自坊で祖母の13回忌を勤めたのですが、思い起こせば葬儀の日、親戚の世話好き叔父さんがお焼香の順番まで決めてくれました。今は人よりも、ネットに頼る方を多く見受ける中、とても心強かったのを覚えています。

ある意味では猿や他の動物の方が、純粋に他との関りの中を生活しているのではないのでしょうか。今日、人間が人間を失っているように感じます。
(編集長 仲井 真裕 記)



GWは家族で清澄庭園に行きました

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com

🌐 <https://saitoku-ji.jp>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook